

## 担い手の経営のライフステージに応じた支援

## (10) 南相馬市との「農業経営改善支援に関する連携協力協定」の締結とその取組み

農林中央金庫 福島支店 (福島県)

新規	継続
	○
	(平成 28 年 5 月)

1 動機(経緯)	南相馬市は福島県浜通りの北部に位置し、東日本大震災による地震、津波、原発事故による多大な被害を受けた地域です。市は、震災後の南相馬市における農林水産業に特化した戦略的計画の必要性から、外部知見者のアドバイスを取り込み、平成 28 年度に「農林水産業再興プラン」を策定しました。 農林中央金庫福島支店は、当該プラン策定のオブザーバーとして参画しました。 このことを契機として、平成 28 年 5 月 30 日に南相馬市で営農再開する農業法人を主に対象とした「農業経営改善支援に関する連携協定」の締結を行いました。
2 概要	当該連携協定に基づき、職位 1 名を市臨時職員のアドバイザーとして派遣し、既往農業法人を中心に地元 J A とも連携をしながら、農業者の経営サポートを行ってきました。 平成 29 年度までのおよそ 2 年間、支援農業法人の財務分析や事業再開計画の策定を中心に補助事業の申請等の支援のほか、「南相馬市農業復興チャレンジ塾」の講師対応や「南相馬市 6 次化推進協議会」の委員と参画しました。
3 成果(効果)	支援法人の経営分析や事業再開計画策定の支援を通じ、J A の農業近代化資金 (2 先) および復興ファンド (1 先) を実行し、農業法人と J A グループとの関係強化に貢献しました。
4 今後の予定	平成 30 年 3 月でアドバイザーの派遣は終了しますが、平成 30 年 4 月からは「農業経営改善支援連絡協議会」を設立し南相馬市との連携を拡充、農林中央金庫が組織として関わることで、農業法人に対し専門的で迅速な経営サポートを行って参ります。

## 【連携のイメージ】

